

# 緩和ケア通信

2022年12月13日 緩和ケアセンター発行 Vol.5 緩和ケアセンターHP QRコード



## 「残存・増強した痛みの治療」についてご紹介します (緩和ケアマニュアル：p.42～47)

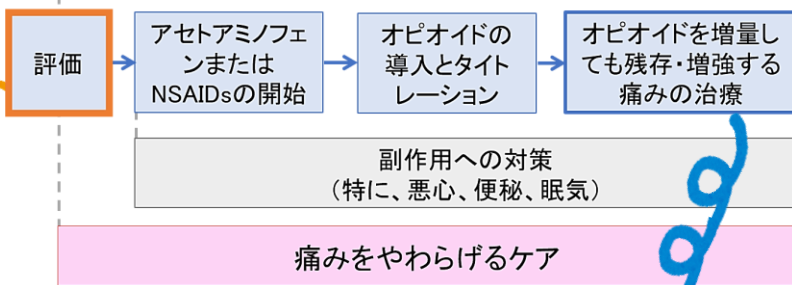


病院職員のみなさん！  
わたしが過ごしやすいようにサポートしてね！

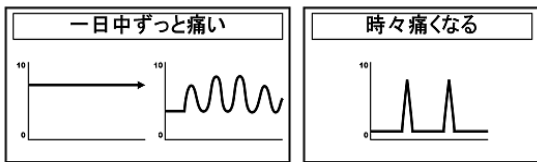
### ◆がん疼痛治療の流れ

- ①疼痛の病態・原因の評価を行う
- ②①が治療可能かどうか判断し、適切な治療に繋げる  
(骨転移痛の場合は放射線治療も検討する)

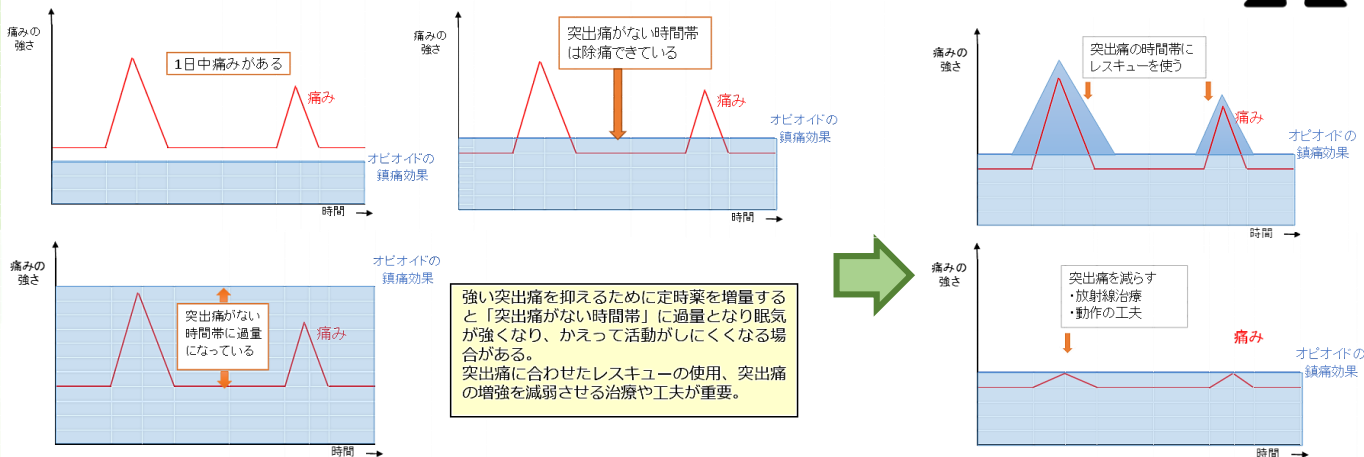
### 痛みの原因に対する治療



### ◆オピオイドを開始しても痛みが残存する場合、持続痛か突出痛かを区別する



- 持続痛：定時オピオイドの増量
  - 突出痛：レスキューを使用
- 持続的な痛みがコントロールできていない場合と、持続的な痛みはコントロールできているが突出痛がある場合を区別して対応することが重要



### ◆痛みをやわらげる治療とケア：常に評価を行い、薬の副作用も念頭におく

- 骨転移痛には放射線治療、ランマーク® やゾメタ®の投与も検討

- せん妄、傾眠などの副作用に注意
- 病変部の疼痛がマスクされる

- 生活環境の調整
- 装具や補助具の活用 (コルセット・杖など)



骨転移で痛いところを動かしすぎていませんか？医療用麻薬で痛みが隠されているから、動きすぎはキケンだよ！

